

令和2年度 2ブロック研究発表会記録

大阪市立横堤中学校 長田 優豪

10月16日（金）横堤中学校にて、第2ブロック特別支援教育部会を開催
24名の先生が参加

○今年度の掲載記事執筆者を選出

- ・中養タイムズ
- ・大阪市 PTA だより

○新ブロックでの選出方法について

- ・専門委員
- ・役員、主単車
- ・機関誌の編集委員
- ・中養タイムズ執筆者
- ・大阪市 PTA だより執筆者

○インクルーシブ教育推進担当の前枝先生より講話

- ・特別支援学級担任者会と教育研究会特別支援教育部の内容や違いについて
- ・インクルーシブ教育システム構築支援データベースと NISE 学びラボの紹介

令和2年度 4ブロック研究発表会記録

～新4ブロックの出発にあたって～

大阪市立長吉西中学校 名越 慎太郎

4ブロック（天王寺区、生野区、阿倍野区、東住吉区、平野区）では、各校1名ずつの制限を設けコロナ対策を行う中、9月30日（水）に天王寺中学校で新しい運用のルールを決定し、研修会を開催しました。

今回の研修では、各区で集まり、日頃の特別支援学級における悩みと、教育実践の報告を行いました。そこで一番多くあげられた課題は、通常学級に馴染むことが難しい、特別支援学級に在籍する不適應生徒の対応でした。

多くの時間を特別支援学級で過ごす生徒は、年々増加傾向であると多くの教員から声がありました。その中で、6時間すべて支援学級で過ごすケースの対応が難しいという声や、大変な中であるがうまく工夫し、教育環境を作っている等、意見があげられました。

そうした不適應の生徒対応の課題があげられる一方、嬉しい報告もありました。なかなか学校に登校できない生徒がいたようですが、家庭訪問やポスティングを粘り強く行い関わる中で、卒業式にも参加でき、進路先の高等専修学校では、毎日登校できるようになったというものでした。

また、東住吉区では、交流パラスポーツとしてボッチャ大会の開催があげられました。近隣校5校で連携し、継続して行われているようです。生徒たちもボッチャ大会をととても楽しみにしているとのことでした。このように、同じブロック内であっても知らなかった取り組みがあることがわかり、今後このように横のつながりを広げ、ワクワクするような活動を広げていければと感じました。

今回は外部から講師を招いての研修会はできませんでしたが、ブロックでテーマを設け自分たちで行うことも、大変有意義なものであると実感しました。大きくなったブロックの強みを生かし、教員が特別支援教育のやりがいと再確認できる研修会にしていきたいと思います。